

タカチホヒラタマバチ

ハチ目ヒラタマバチ科

Ibalia jakowlewi Yasumatsu

石川県カテゴリー 絶滅危惧Ⅱ類

国カテゴリー なし

選定理由

現在のところ、生息地が局限されている。

形態

腹部が縦に扁平であり、一見して他のタマバチ類と区別できる。

国内分布

石川県、京都府、福岡県において確認記録がある。

県内分布

輪島市猿山岬が唯一の生息地である。

生態

エノキの枯れ枝から採集された。ヒラアシキバチに寄生するものと思われるが、詳しい生態については不明である。

生息地の条件

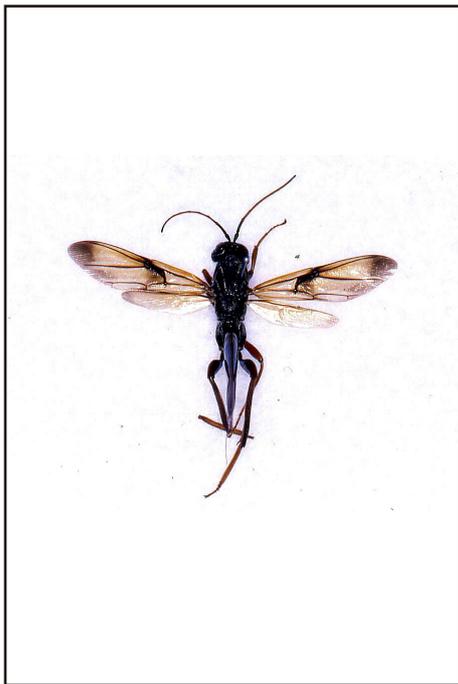
猿山岬でしか確認されておらず、不明である。

生存の危機

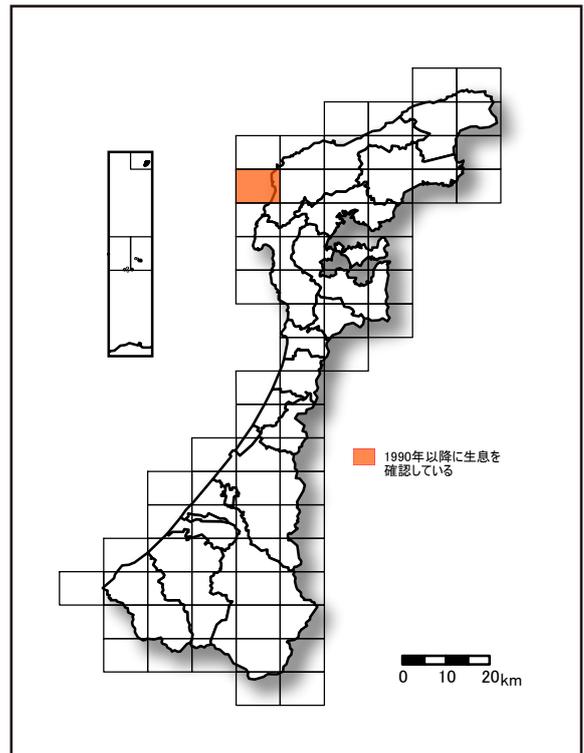
現在のところ、生存を危うくするような条件はないと思われる。(A)

参考文献

Yasumatsu, K. 1937. Ibalinae of Nippon (Hym., Cynipidae). Ins. Mats., 12:13-18, p1. 1.
富樫一次 1999. タカチホヒラタマバチ及びモンキアシトコバチの新産地. 福井虫報, (25) :23.



標本提供者: 富樫一次



県内の分布